

平成26年度科学技術重要施策アクションプランについて

平成25年11月29日
地域資源戦略協議会事務局

平成26年度科学技術重要施策アクションプランのポイント

- アクションプランにより、**総合科学技術会議が主導**して、政府全体の科学技術関係予算の重点化に向けて、**概算要求前から関係府省の施策を誘導**。※
- アクションプランに該当するとして関係府省より提案のあった施策について、責任府省の特定・連携方策の助言等を通じて、**プログラム化（大括り化）**を積極的に推進。
- さらに、特定された施策を踏まえた**詳細工程表**を作成し、年間のPDCAサイクルを着実に実施。
- 今回、243の提案施策から**絞り込み**を行い、**98施策**を特定（うち、**大括り化された施策37**）。概算要求額は**約3,351億円**。

※医療分野については、健康・医療戦略推進本部の一元的な予算配分調整の下でとりまとめられた府省連携プロジェクトをアクションプラン対象施策とした。

科学技術イノベーションに向けたアプローチ

「第4期科学技術基本計画」基本方針

- ・科学技術イノベーション政策の一体的展開
- ・人材とそれを支える組織の役割の一層の重視
- ・社会とともに創り進める政策の実現

「科学技術イノベーション総合戦略」基本的考え方

- ・科学技術イノベーション政策の全体像を含む長期ビジョン+短期行動プログラム
- ・課題解決型志向の科学技術イノベーション政策の包括的パッケージ
- ・産官学連携の役割分担、責任省庁を明示し、予算・税制、規制改革等の様々な政策を組合せ
- ・基礎研究から応用研究、実用化までの研究開発段階だけでなく、その川上・川下段階の範囲を拡大
- ・予算と直結した年間のP D C Aプロセスにより、施策を評価・見直し

平成26年度アクションプラン施策特定における取り組み

- 重点的課題の設定
- 施策の大括り化の促進
- 詳細工程表の作成

地域資源分野における重点的課題の設定

科学技術イノベーション総合戦略及び平成26年度アクションプランにおいて「**地域資源を‘強み’とした地域の再生**」を政策課題として掲げ、以下の通り重点的課題・重点的取組を設定。

重点的課題	重点的取組み
科学技術イノベーションの活用による農林水産業の強化	(1) ゲノム情報を活用した農林水産技術の高度化 (2) 医学との連携による高機能・高付加価値農林水産物の開発 (3) I T・ロボット技術等による農林水産物の生産システム の高度化
地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり	(4) 生産技術等を活用した産業競争力の涵養 (5) サービス工学による地域のビジネスの振興 (6) 地域の产学研官が連携した研究開発や地域経済活性化 の取組

施策の大括り化の促進

H26年度アクションプラン対象施策の特定過程で各府省を一堂に参集したヒアリングを行い、施策群の責任府省の明確化、施策関係府省間の連携方策の助言等を実施。

関係府省を一堂に会してヒアリングを実施



連携施策ごとアクションプラン対象施策として特定

No.	小分類	施策番号		再掲	連携単独の別	責任府省	事業期間	H26年度予算(概算:百万円)	予算新規/継続	H25 AP/重バ	特定における特記事項
1	洋上風力	工・経43	風力発電技術研究開発		連	経	H25～H28	5,188	継続	AP	・本施策は、将来的な超大型の浮体式洋上風力発電システムの開発に向けて、洋上風況観測システム、着床式洋上風力発電システム、小中規模浮体式洋上風力発電システムの開発を行うものであり、コンポーネント等を含む周辺産業に対する経済効果も大きいことから、意義は認められる。 ・経産省が近々での実用化を目指す大型着床式洋上風力の開発、環境者がより先の実用化を目指す浮体式洋上風力の開発に伴う環境影響調査等といったように、明確な役割分担のもと両者が一体となって推し進めており、成果の効率的な受渡や活用が見込める点についても評価される。
2		工・環01	洋上風力発電実証事業				H22～H27	1,369	継続	AP	・今後は、電力系統を含めたトータルなシステムの検討など、当該施策の成果を普及展開させるための計画や施策連携が必要である。

詳細工程表の作成

特定された施策のP D C Aサイクルを着実に実施するため、詳細工程表を作成。成果の検証が可能となる数値などを含む達成目標とその達成時期、目標の達成に向けて取り組むべき具体的取組や中間目標を明示。

